

脳卒中発症登録事業状況

県内の医療機関から提供された脳卒中患者(死亡を含む。)の発症登録の状況は次のとおりである。
なお、対象とした期間は、平成15年4月1日から平成16年3月31日までの発症として登録したものである。

1 医療機関別報告状況

協力医療機関の所在地により区分した場合の報告状況である。

	協力医療機関数	発症登録のべ件数	うち死亡件数
宇都宮市	9	815	51
県西健康福祉センター	12	828	38
県東健康福祉センター	6	523	32
県南健康福祉センター	8	872	74
県北健康福祉センター	6	1,637	45
安足健康福祉センター	6	1,143	127
合計	47	5,818	367
うち病院	38	5,319	346
うち診療所	9	499	21

2 患者住所地別報告状況

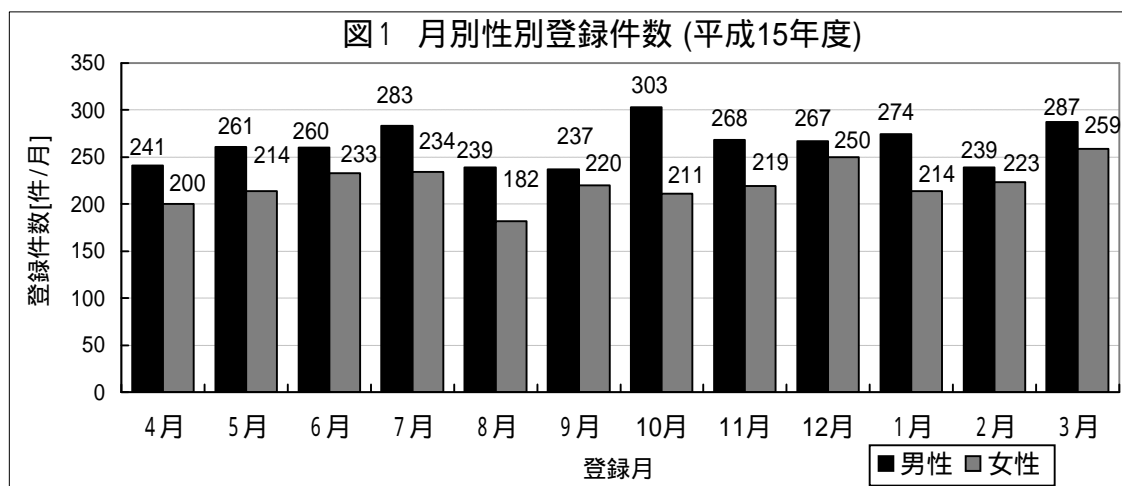
登録された患者の住所により区分した場合の報告状況である。

	協力医療機関数	発症登録のべ件数	うち死亡件数
宇都宮市	30	1,069	57
県西健康福祉センター	27	861	39
県東健康福祉センター	23	749	37
県南健康福祉センター	24	816	71
県北健康福祉センター	19	1,234	42
安足健康福祉センター	10	1,089	121
合計		5,818	367

3 月別・性別登録状況

月別（登録医療機関での診断日基準）・性別の報告件数は図1のとおりであり、年間で5,818件、月あたり平均484.8件の報告があった。

性別の登録件数は、男性3,159件、女性2,659件であった。

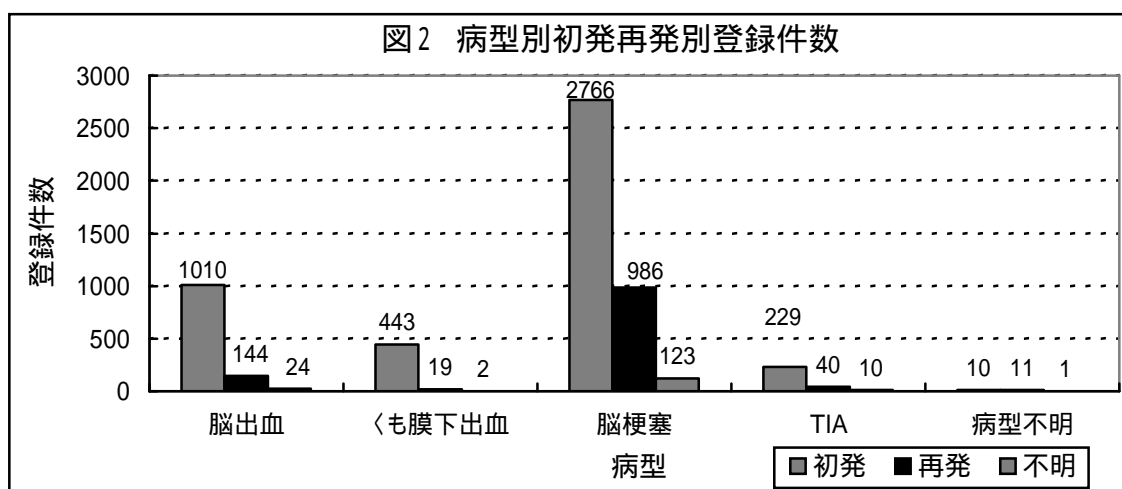


4 病型別・初再発別登録状況

病型別の登録状況では、脳梗塞の診断が最も多く3,875件(66.6%)、次いで脳出血1,178件(20.2%)、くも膜下出血464件(8.0%)であった。(図2)

初発再発別の登録状況では、初発の診断が4,458件(76.6%)、再発が1,200件(20.6%)、不明が160件(2.8%)であった。

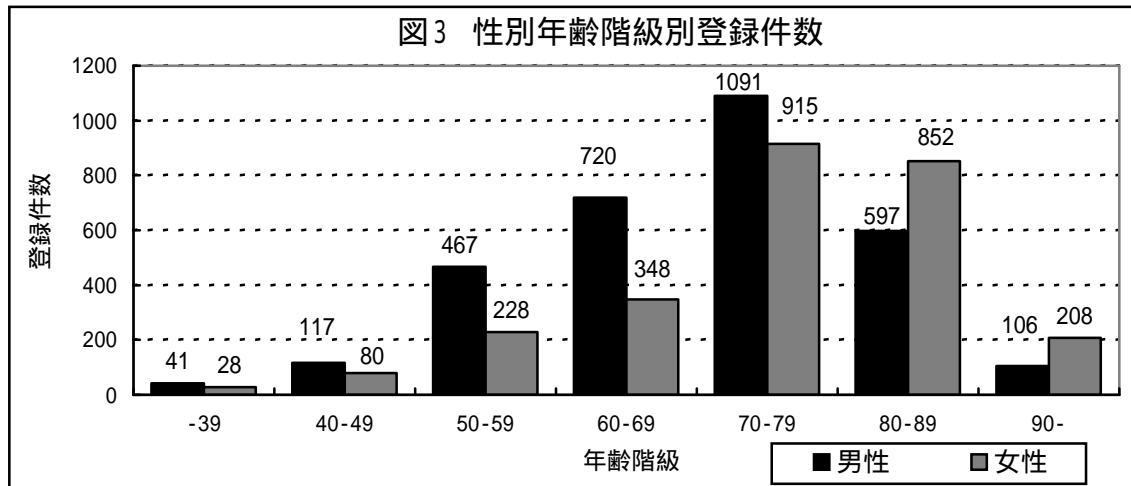
病型別の、全登録に占める再発登録の割合は、脳梗塞で25.4%(986/3,875件)、脳出血で12.2%(144/1,178件)、くも膜下出血で4.1%(19/464件)であった。



5 性別・年齢階級別登録状況

(1) 性別・年齢階級別登録状況

年齢階級別では、男女とも70歳代の登録件数が最多である。男性は女性と比較して、比較的若年者が占める割合が高い傾向が認められた。(図3)



(2) 病型別・初再発別・性別・年齢階級別登録状況

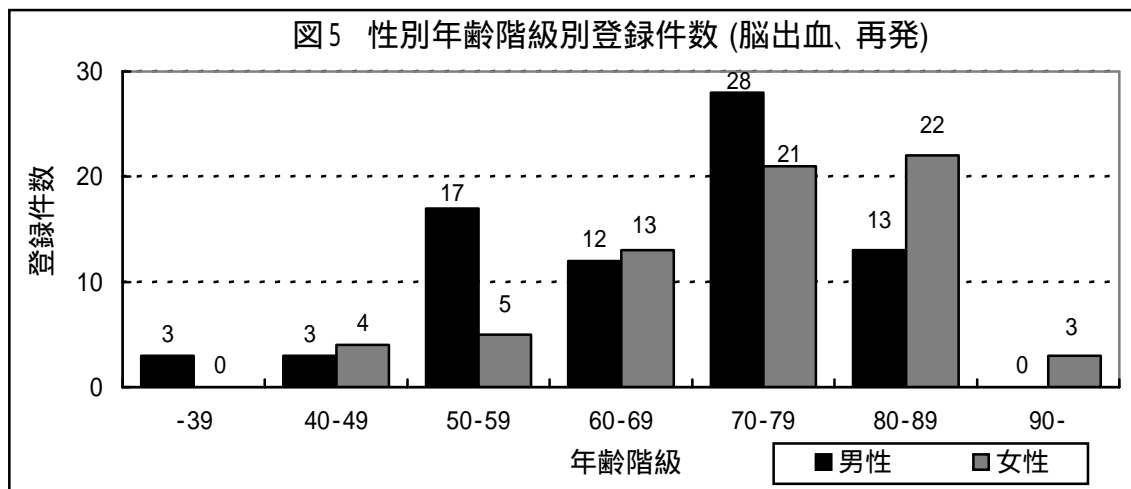
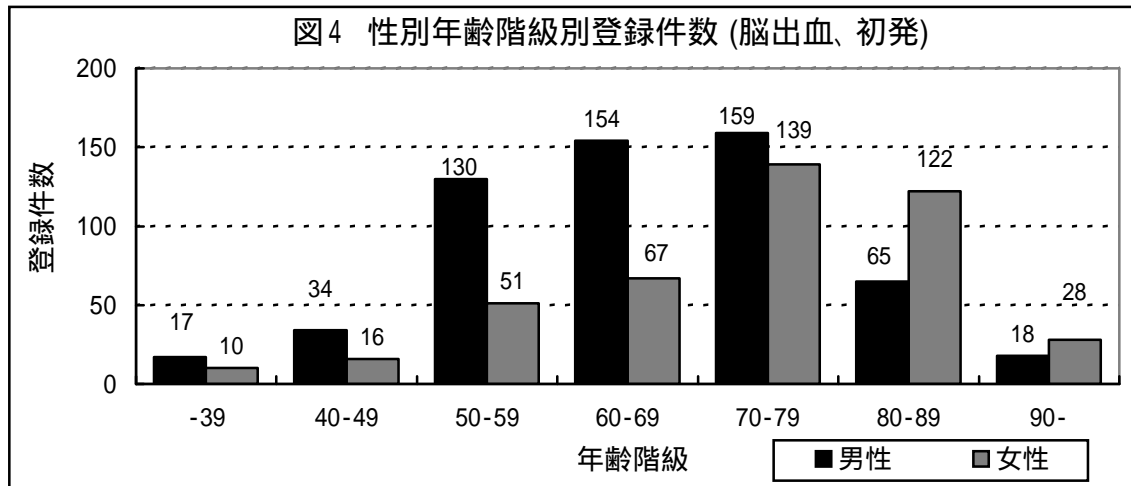
脳出血

初発の性別・年齢階級別登録件数では、男性、女性ともに70歳代が最多であった。

(図4)

再発の性別・年齢階級別登録件数では、男性は70歳代、女性は80歳代が最多であった。

(図5)

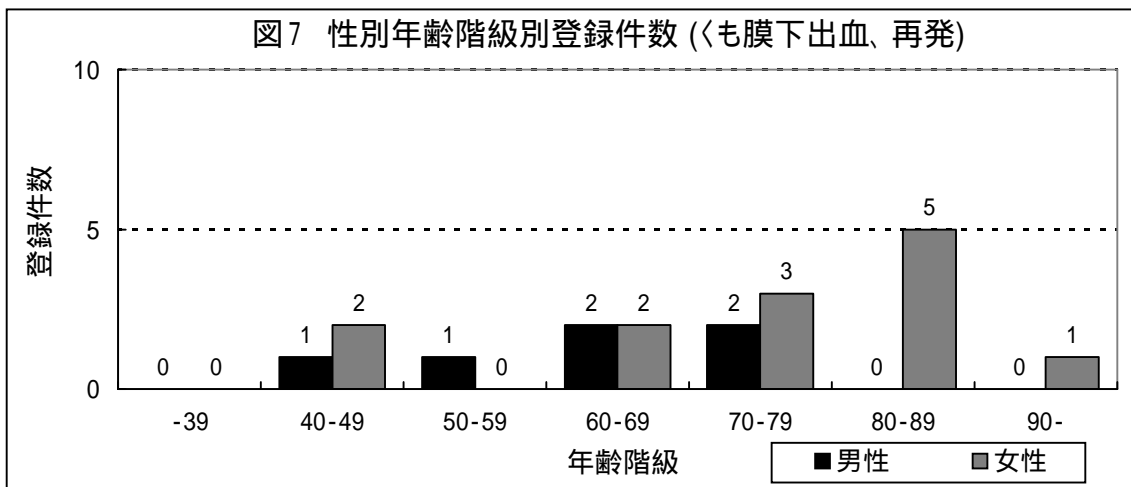
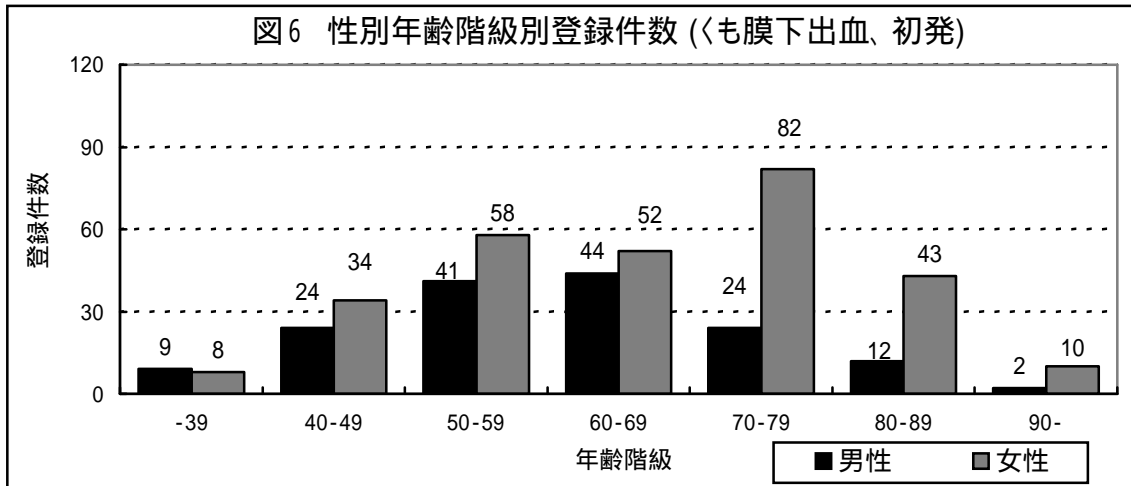


くも膜下出血

初発の性別・年齢階級別登録件数では、男性は60歳代、女性は70歳代が最多であった。

(図6)

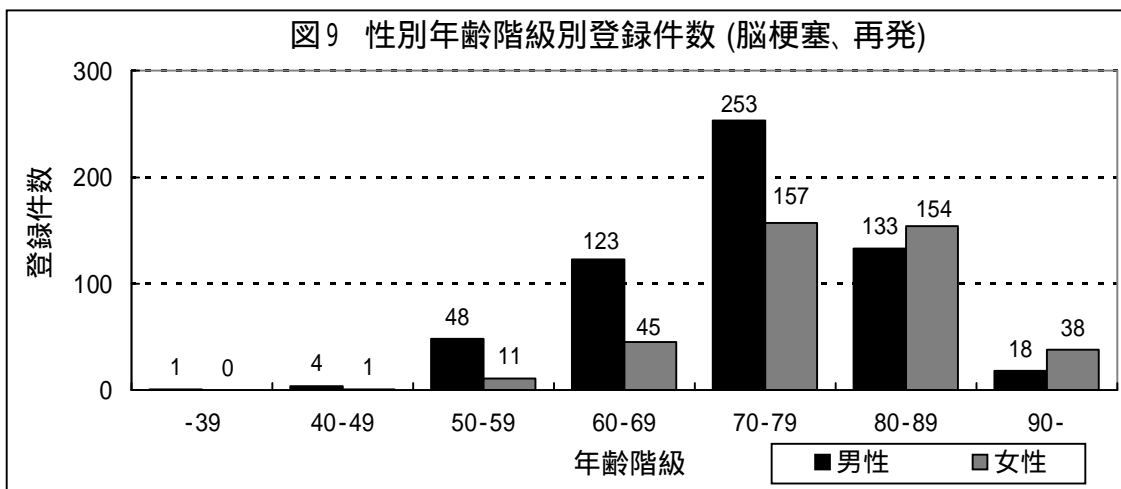
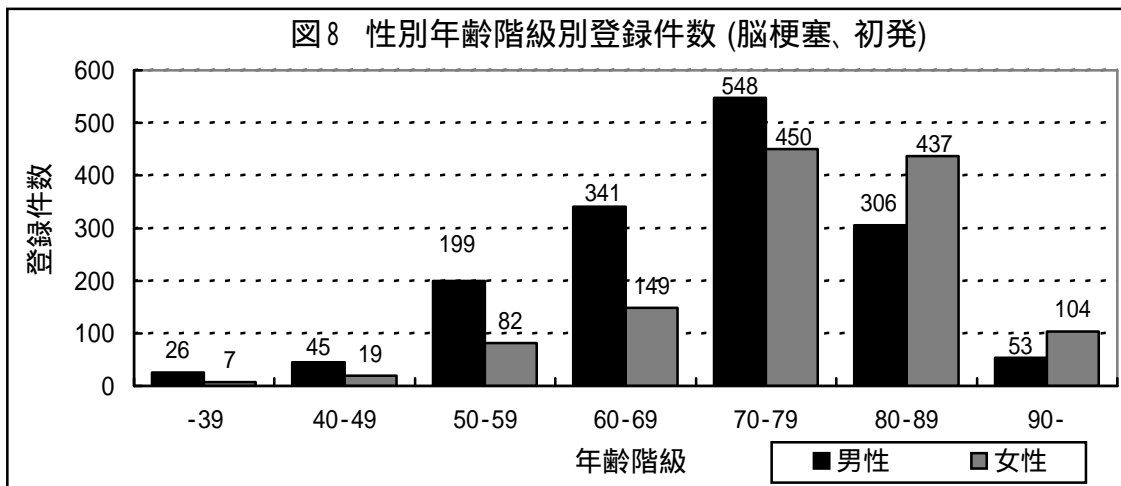
再発の性別・年齢階級別登録件数は、図7のとおりであった。



脳梗塞

初発の性別・年齢階級別登録件数では、男性、女性ともに70歳代が最多であった。(図8)

再発の性別・年齢階級別登録件数でも、男性、女性ともに70歳代が最多であった。(図9)

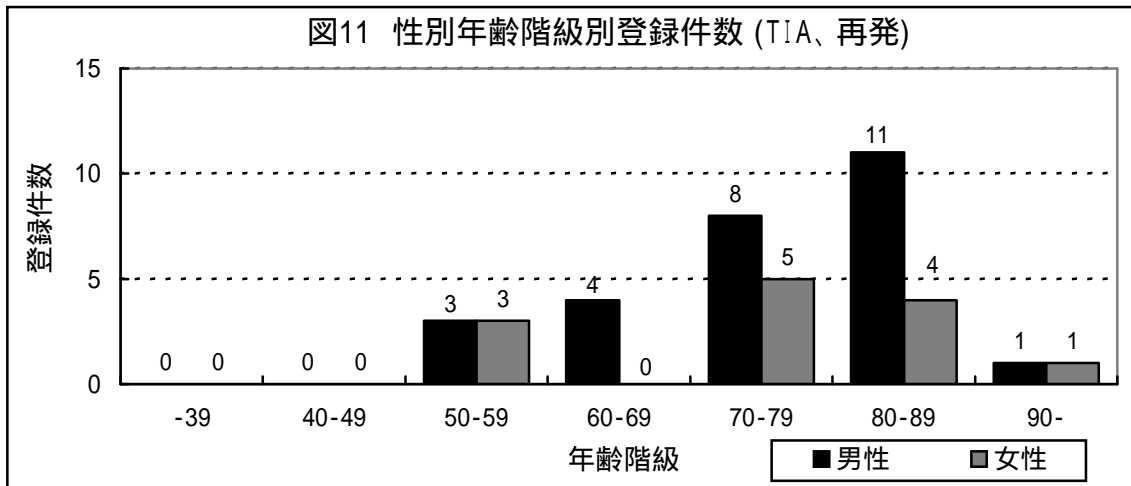
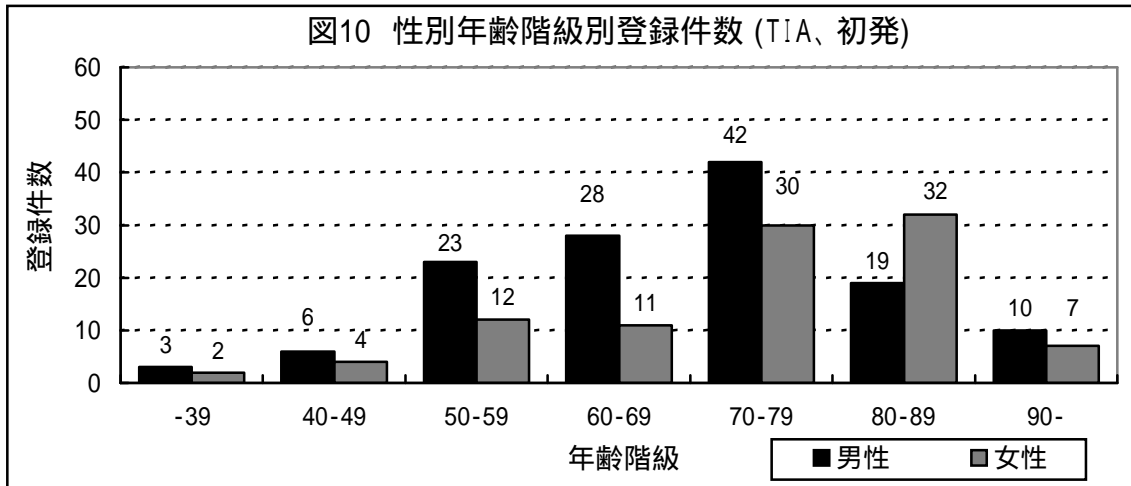


T I A

初発の性別・年齢階級別登録件数では、男性は70歳代、女性は80歳代が最多であった。

(図10)

再発の性別・年齢階級別登録件数は図11のとおり、男性は80歳代、女性は70歳代が最多であった。



6 受診後の患者措置の状況

医療機関で診断を受けた後の患者措置の状況は、入院する割合が男性 85.5% (2,701/3,159 件)、女性 83.8% (2,227/2,659 件)、計 84.7% と高い。

全登録に占める割合は、死亡が 6.3% (367/5,818 件)、在宅が 9.0% (523/5,818 件) であるが、病型別にみると、くも膜下出血では 14.9% (69/464 件) と死亡の占める割合が高く、脳梗塞では 11.0% (428/3,875 件) と在宅の占める割合が高い傾向が認められた。

